

ラディッシュ (アスナ科)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
タネまき	収穫										

品 種

【春・秋まき】コメット（丸形、赤色）、カラフルファイブ（丸形、赤色、紅色、白色などの混合）、フレンチブラックファースト（楕円形、上部赤、下部白色）、雪小町（ミニ大根形、白色）

【夏まき】サクラ（丸形、赤色）

栽 培 ポ イ ン ト

一年じゅう栽培できますが、作りやすいのは春と秋で、30日ぐらいで収穫できます。根の肥大に適した温度は15～16度で、夏の高湿、長日条件下では根部よりも葉の生長が早く、根よりも葉の大きいものができてしまいます。また、栽培時期に適した品種を選ばないと根の肥大や色が不良となります。

土は排水がよく、やわらかければ、どんな土でも栽培できます。形、色と質のよいものを作るには、きちんと間引きを行い、土を乾かさなこともたいせつです。

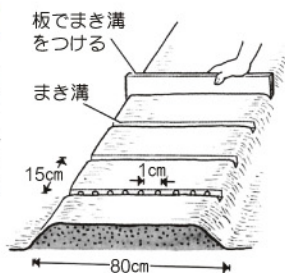
肥料は、栽培期間が短いので、元肥だけで育ちますが、どうしてもうまく生長しない場合は、肥効の速い液肥などを追肥するようにします。

栄 養

生食が主ですから、若干はビタミンCの補給源となりますが、他のビタミン類はあまり含まれていません。ダイコンと同じようにアミラーゼも含んではいます。

1 畝 作 り

畑を耕してベッド畝を作る。畝に化成肥料をまいて土にまぜ込み、平らにならしてまき溝をつけ、タネまきを条まきにする。



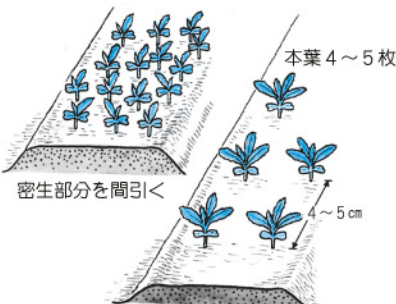
2 発芽までの注意

タネまき後、十分に水をやり、新聞紙をかけて乾燥を防ぐ。発芽が始まったら、新聞紙はすぐにとり除かないと徒長する。



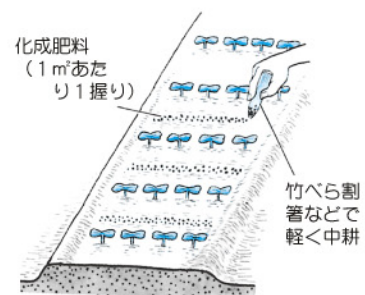
3 間 引 き

3～5日で発芽する。双葉が開いたら密生部を間引き、その後も込み合わないよう間引いて、本葉3～4枚で4～5cm間隔にする。



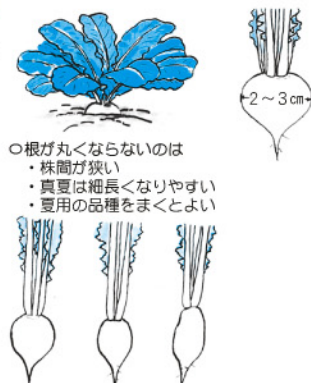
4 追肥・中耕

葉の色が薄く肥料不足のようであれば、条間に化成肥料をまき、軽く中耕して土をほぐしながらまぜる。あるいは液肥を施してもよい。



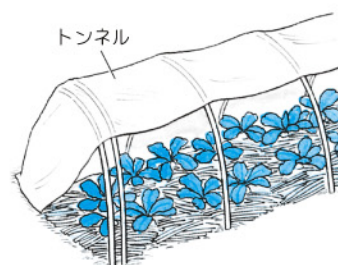
5 収 穫

本葉5～6枚に育ち、根の直径が2～3cmぐらいになれば収穫。大きくなったものから順に抜くとる。



6 夏の日よけ・冬の防寒

夏栽培は寒冷紗などをかけて、暑さと乾燥を防ぎ、11月ごろからはビニールをかけて防寒するとよい。冬のトンネル内は乾燥がはげしいので、ときどき、天気のよい日に十分に水をやる。



主な病害虫
◆害虫 アブラムシ